

学校業務改善推進事業 平成 27 年度 朝来市教育委員会の取組

1 主な取組

(1) 勤務時間の適正化に関する検討委員会

一昨年度から、定例教頭会の場合をこの検討委員会として実施している。

本年度は、4月28日、6月18日、9月29日、12月3日の4回開催した。

【主な内容】

- ・市の課題及び努力目標の提示(昨年度の反省をもとに作成)
- ・各学校に業務改善プロジェクトチームの設置の確認
- ・業務改善に係る学校毎の本年度目標についての情報交換
- ・学校業務改善に係るアンケートの実施についての協力依頼 等
- ・学校業務改善に係るアンケート結果についての情報伝達 等

(2) 実態調査の実施(10月)と結果報告(11月)

(3) 朝来市学校業務改善情報交換会の実施(2月3日)

2 主な成果

- 「広報朝来」8月号に「教職員の定時退勤日」「ノー部活デー」の趣旨や意義ついて昨年度に引き続き掲載した。各学校でも、この掲載を基に学校便り等で保護者へ周知することができた。
- 教職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現の一環として、また、学校施設(光熱費等)維持費の削減のため夏季休業日における盆期間の学校閉所を実施。(8/13、14(15、16))朝来」7月号に広報するとともに、各学校においても学校便り等で保護者へ周知することができた。
- 「定時退勤日」の設定と実施により、設定した曜日には早く帰るという意識が広まってきている。
- 通知表と指導要録の電子化により、期末事務処理の時間が軽減された。

3 主な課題

- 中学校では生徒指導や部活指導に時間がとられ、教材研究や打ち合わせの時間が取れないのが実情である。
- 業務改善に向けた意識変化は進んでいるが、学校により、また、校内において温度差がある。
- 通知表と指導要録の電子化について、定着が進んできたが、道徳の教科化や小学校英語の教科化などへの対応が求められる。